

## JR東海が沿線の町会・自治会単位で事業説明会を開催 -沿線住民にとって不利益は無いのか？ 納得できる説明を求めましょう-

麻生区で開催される事業説明会（1月5日現在判明分）

1月10日（土）17:30～白鳥中学校体育館

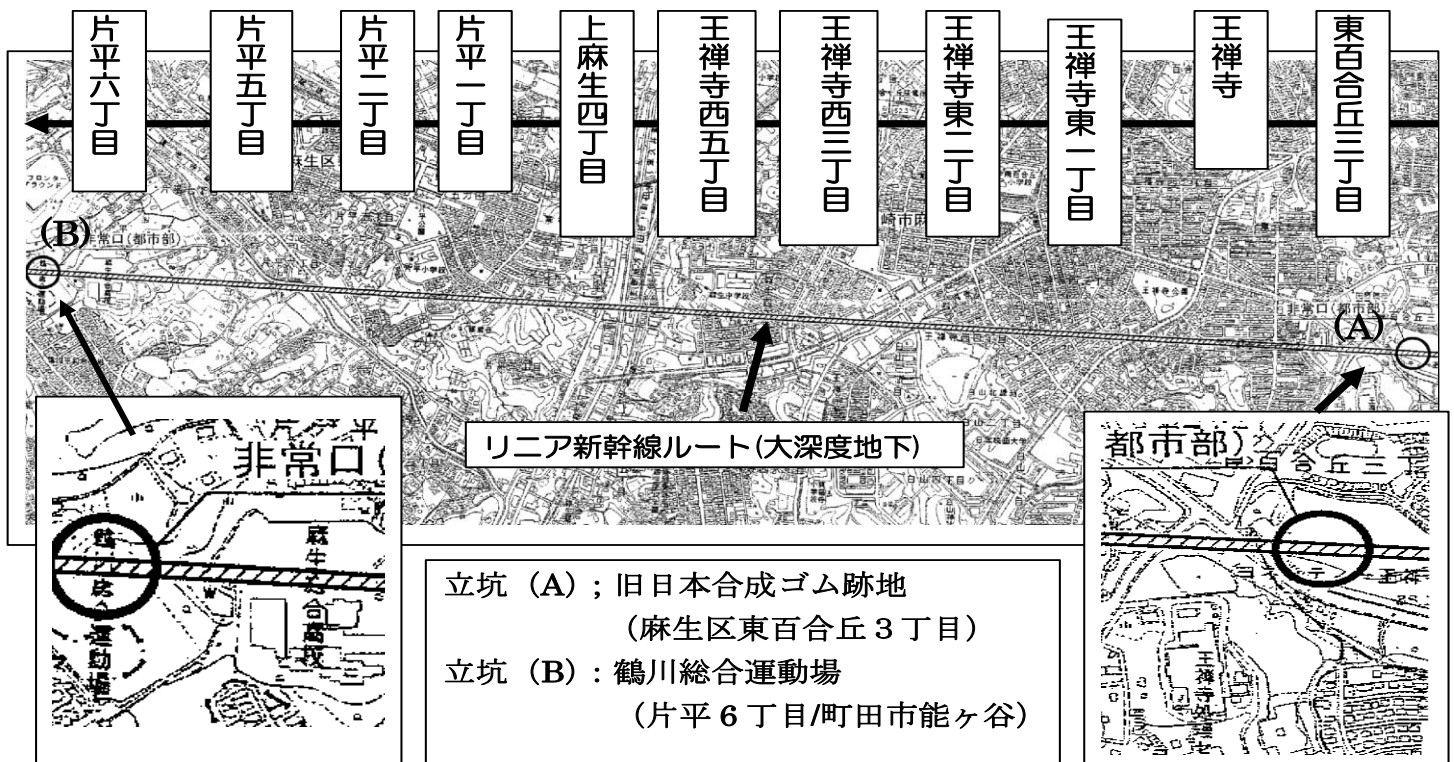
1月24日（土）14:00～長沢小学校体育館

2月11日（水）13:30～南百合ヶ丘小体育館

\* JRの事業説明会は、下記の、リニア沿線と工事車両走行道路（尻手黒川線）周辺の町会・自治会をもとに開かれます（日時・場所はJR東海から下記各町会・自治会に連絡）

東百合丘町会、サニーハウス百合丘管理組合、三井百合ヶ丘第二地区自治会、同第三地区自治会、三井山百合会、王禅寺みどり町会、百合ヶ丘勸交会、山口台自治会、マイシティ新ゆり町内会、王禅寺町内会、新百合ヶ丘自治会、日生百合ヶ丘自治会、白山けやき自治会、吹込町内会、白山3丁目管理組合、真福寺町内会、日光台自治会、柿生駅前町内会、片平町内会、小田急さつき台自治会、さつき台自治会、プラウディア五月台Ⅱ自治会、プラウディア五月台管理組合、栗平白鳥自治会、栗木町内会、栗木台自治会、黒川町内会

麻生区のリニア新幹線ルート（トンネル）上の事業対象地域（JR東海資料より）



## 工事が始まると、川崎市民にとってこんな心配が・・・

- 10年以上の工事が出る残土の量は、川崎市内だけで407万 $m^3$ （東京ドーム3.5杯分）  
市長意見でも具体的計画が無いと指摘されている残土の保管場所、処分先はどうか？
- 100万台に及ぶ工事車両による騒音・振動・大気汚染・交通安全への対策はどう取られているのか？（川崎市長「工事用車両の走行に伴う環境への影響が懸念される」）
- 立坑、大深度トンネル掘削による地下水脈、地盤への影響はないのか？  
地上の人が、家が傾いたなどの原因がリニアの地下トンネルが原因であると考えた場合、被害の因果関係を実証しなければならず、実際の被害の補償はハードルが高い。
- 大深度トンネルの真上の地価が下落しても補償は無いのか？  
宅地建物取引法では、売主は買主に対しすべての関連情報を提供しなければならず、リニアのトンネルが通る真上の不動産価格は下落する不利益を被る可能性がある。
- JRの資金が不足すれば工事は中断。国の税金をつぎ込むことは無いのか？  
すでに国交省は、JRに対して、リニアのための不動産取得税を免除する方針。
- 想定外の事態で事業が中止になったら、掘った立坑、トンネルはどうする？  
未来永劫に続く事業はありえない。将来、リニアが廃止になったら、掘った立坑、トンネルはどうするのか？埋めるための土はどこから持ってくるのか？等、将来の世代に巨大な負の財産を残すことになる可能性も。
- リニア事業は川崎市民にとってどんなメリットがあるのか？  
JRの事業説明会で、川崎市当局は「川崎市にとってリニアのメリットは何か？」と質問したが、JR東海からは未だに具体的な回答は無い。市議会は、住民からの請願・陳情を幾度も採択しているが、JRには市民の要望に応える姿勢が見られない。

## 国交省の認可取り消しを求め、 全国で5,048人が異議申し立てに参加！

リニア新幹線計画の沿線住民は、全国から寄せられた異議申し立て書5,048通を12月16日国交省に提出しました。皆様大変ありがとうございました。

異議申し立て書の裁決までは今後数か月要するものと思われます。この間に、国交省より申し立人に直接連絡があり、対応に苦慮されるような場合は、ご面倒でも下記に連絡ください。



異議申し立て書を提出するリニア沿線住民 ネットの川村共同代表（左端）と国交省担当官（中）。右側は全国沿線地域からの住民代表。参議院議員会館で

### リニア新幹線を考える 麻生・多摩の会

HP <http://web-asao.jp/hp/linear>

世話人代表 矢沢 美也

〒215-0003 川崎市麻生区高石 2-38-5

電話 090-6108-6568